

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

## 事業名 県立社会福祉施設設備等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内 2617)

E-mail: [c11226@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11226@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 402,343 千円 (前年度予算額：404,645 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	404,645	0	0	0	0	0	0	363,000	41,645
要求額	402,343	0	0	0	0	0	0	358,900	43,443
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 老朽化が進む県立障がい福祉施設の大規模な営繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

### (2) 事業内容

県立社会福祉施設の営繕工事 (実施設計及び改修工事) を実施し、施設利用者の安全性と利便性の向上を図る。

#### 【継続工事 (令和元年度からの債務負担)】

○陽光園照明器具改修工事 23,135 千円

施設建築から 43 年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○ひまわりの丘第一・二学園空調・給排水管改修工事 145,702 千円

(R4:34,396 千円)

施設建築から第一学園：30 年、第二学園：42 年を経過し老朽化が著しいため改修する。

#### 【継続工事 (令和2年度からの債務負担)】

○ひまわりの丘第一・二学園照明設備改修工事 38,548 千円

施設建築から第一学園：30 年、第二学園：42 年を経過し老朽化が著しい

ため改修する。

○みどり荘管理棟等便所及び配管改修工事 88,030 千円

施設建築から 38 年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○はなの木苑管理棟等屋上外壁等改修工事 68,952 千円 (R4:138,295 千円)

施設建築から 19 年を経過し劣化が著しいため改修する。

#### 【新規工事】

○陽光園管理棟屋上防水改修工事 4,682 千円 (R4:89,312 千円)

前回防水施工時から 18 年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○陽光園熱源機器改修工事 3,293 千円 (R4:40,364 千円)

前回改修時から 23 年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○三光園空調改修工事 8,555 千円 (R4:142,298 円)

施設建築から 38 年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○ひまわりの丘第一・二学園機械棟屋上外壁改修工事 2,512 千円  
(R4:22,851)

施設建築から 30 年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○ひまわりの丘第一・二学園防犯設備設置工事 12,689 千円

現状の防犯カメラに追加設置を行う。

○ひまわりの丘第三学園作業棟改修工事 4,063 千円 (R4:47,426 千円)

施設建築から 23 年を経過し老朽化が著しく、また、喫茶あすなろの機能を移転するため改修する。

○はなの木苑土砂等防護柵設置工事 2,182 千円

施設周辺の法面について、施設への土砂流入を防ぐ防護柵を設置する。

#### (3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10 (予定施設は全て県立施設であるため、県負担は妥当)

#### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	145	改修工事現場への出張旅費
使用料	66	出張に係る高速代
需用費	754	消耗品費 463・燃料費 291
役務費	357	郵送費・通費
委託料	24,475	改修工事の実施設計委託料
	7,640	改修工事の工事監理委託料
工事請負費	368,906	改修工事の請負費
合計	402,343	

## 決定額の考え方

### 4 参考事項

(1) 後年度の財政負担（令和4年度 債務負担行為設定）

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
老朽化が進む県立障がい福祉施設の大規模な営繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
実施が必要な大規模営繕工事の年度実施件数	0件 (H31)	3件 (R02)	6件 (R03)	0件 (H31)	9件 (R03)	100%

### ○指標を設定することができない場合の理由

--

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
営繕工事の実施設計及び工事の施工を行う。
  - ・ひまわりの丘第一・第二学園照明設備改修工事 ほか

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
営繕工事を実施することにより、施設利用者の安全・安心な生活環境の改善が見込める。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	施設利用者の安心・安全な生活環境を確保するため、営繕工事の実施が必要となる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) —	これまでの営繕工事により、施設利用者の安全・安心な生活環境の実現が図られた。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) —	営繕工事の実施検討にあたっては、庁内関係課と現地調査を行い、適切で効率的な実施方法を適用している。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県立障がい福祉施設は多くの施設で老朽化が進んでおり、今後も新たな営繕工事が必要となる。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 必要な営繕工事について、計画的な実施を図る。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせる理由や期待する効果 など	—